



2026年5月19日

各位

会社名 株式会社フジ
代表者名 代表取締役社長 山口 普
(コード番号:8278 東証プライム市場)
問合せ先 取締役上席執行役員企画・開発担当
豊田 靖彦
(電話番号 082-535-8516)

2025年度 当社取締役会の実効性に関する評価の結果について

当社は、経営理念「私たちは、豊かなくらしづくりを目指します。」「私たちは、地域社会の発展に貢献することを目指します。」「私たちは、人々を大切に作る企業を目指します。」を礎として、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、コーポレート・ガバナンスを経営上の重要課題と位置付け、その充実・強化に継続的に取り組んでおります。かかる基本方針に基づき、当社取締役会は、取締役会の実効性について定期的に分析・評価を行い、抽出された課題に対する改善策を検討し実施しております。

本日開催の取締役会において、2025年度の評価と分析結果から抽出された課題の確認、並びに実効性を改善する取組みを決定いたしましたので、その内容を下記のとおりお知らせいたします。

1. 評価方法とプロセス

(1)2026年2月、取締役会議長を含む全取締役・監査役を対象に、以下を項目とするアンケートを実施いたしました。アンケートは、各項目の設問を5段階で評価の上、コメントを記載する形式で、現状の実効性を把握するとともに課題を抽出いたしました。

- ①取締役会の構成、②取締役会の運営、③経営戦略・経営計画、④内部統制・リスク管理、⑤指名・報酬、⑥取締役・監査役に対する支援体制、⑦役員研鑽、⑧株主(投資家)との対話、⑨自身の取組み、⑩総括

(2)4月、アンケート結果に基づき、課題・改善策について取締役会で議論いたしました。

(3)5月、実効性の評価結果と改善策を、取締役会で確認いたしました。

2. 分析および評価結果

上記評価方法により、質問項目全般にわたり概ね適切であることが確認され、取締役会の実効性は確保できていると評価いたしました。

(1)取締役会の構成は適切であり、その運営は適正になされています。また、社外の取締役・監査役への議案の事前説明が行われ、取締役会における審議の質の向上に寄与しています。

(2)経営方針・中期戦略について、取締役会で議論・決定がなされており、取締役会はその役割・機能を適切に果たしています。一方、外部環境の変化に対応した経営戦略・経営計画の更新・修正に関する議論

や経営戦略に適合する人材戦略に関する議論の実施が課題であることを確認しました。

- (3) 中期戦略及び重要な業務執行の決定事項にかかる進捗モニタリングにおいて、取締役会はその役割・機能を適切に果たしています。一方、中期経営計画の進捗状況のフォローアップや取締役会で決定された投資案件についての効果検証をより高度化する余地があることを確認しました。
- (4) 取締役・監査役の研鑽に関しては、社外役員向けに事業に関する知識習得の機会は定期的に提供されております。一方、社内役員向けには、強化すべき分野や先端技術に関する分野に関して、その知識等を習得する機会の提供が期待されていることを確認しました。

3. 今後の取組み

- (1) 取締役会における議論の活性化、審議の質の向上のため、審議資料の質・量の適正化に継続的に取り組みます。
- (2) 取締役会において、外部環境の変化に対応した経営戦略・経営計画の更新・修正に関する議論の時間を十分確保するとともに、それを次期の中期経営計画策定に繋げてまいります。
- (3) 取締役会において、中期戦略及び重要な業務執行の決定事項にかかる進捗モニタリングを継続するとともに、中期経営計画のフォローアップや投資案件の事後の効果検証をさらに高度化することで、経営計画や投資案件の意思決定の精度を高めてまいります。
- (4) 取締役・監査役に対して、強化すべき分野や先端技術に関する分野に関して、その知識の習得・向上の機会を継続的に提供してまいります。

以 上